福祉のまちづくり

2019
No.180

▲平成30年3月11日に開催された29回大会では、京都Aが昨年より順位を2つ上げ、3位に入賞されました。

◀国立京都国際会館前からスタートし、白バイの先導で激戦が繰り広げられます。中継地点では、学区社協や民生児童委員の皆さんが選手をサポートしていただいています。

全国車いす駅伝競走大会

障害のある方の社会参加の促進と障害者スポーツの振興を図るとともに、障害のある方への社会の理解と認識を深めることを目的として、平成２年に誕生した全国車いす駅伝競走大会は、第１回から毎年京都で開催されています。現在は５区間21.3キロをリレーし、車いす駅伝唯一の全国大会として歴史を刻んできました。この度、30回の節目を迎える平成31年から天皇盃が授与されることとなり、障害者スポーツへの関心がさらに高まることが期待されています。

目次

ごあいさつ …… P.2～3
特集 学区社協の今①（３回シリーズ）
～学区社協実態調査（速報値）より～…… P.4～5
各部署の取組を紹介 ……P.6～11
寄付御礼・長寿すこやかセンター相談事業 … P.12

社会福祉法人 京都市社会福祉協議会

人に優しく、災害に強い、社協の総合力とネットワークを活かした福祉のコミュニティづくりを進めます。

人に優しく、災害に強い福祉のコミュニティづくりを推進します

社会福祉法人 京都市社会福祉協議会　会長　村井（むらい）信夫（のぶお）

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本会の運営並びに事業の推進に対しまして、格別の御理解と温かい御支援を賜り、心から深く感謝を申し上げます。本年も京都市域の社協活動と地域福祉の発展のため、より一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、社会的孤立や貧困等の問題が深刻化する中、平成30年は、「地域共生社会」の実現に向けて、既存の制度では対象とならない福祉課題を抱える人を支える包括的な支援体制づくりにおいて、社協の役割がますます大きくなっていることを強く感じた一年となりました。

このような中、本会では、佛教大学の岡﨑祐司教授を委員長とする「京都市の社協あり方構想検討委員会」を設置し、京都市社協がこれまで積み上げてきた実績に基づき、時代に即した活動の発展・強化に向けた検討を進めています。昨年は、作業委員を中心に論点整理や学区社協活動の実態調査等を実施し、今後、より多くの皆様の御意見を踏まえた構想の策定に向けて議論を深めてまいります。

また、昨年発生した豪雨災害では、京都市災害ボランティアセンターの取組として、直ちに京都府北部や岡山県倉敷市にボランティアを派遣するとともに、岡山市等へ災害ボランティアセンターの運営や緊急小口資金特例貸付の相談対応のため、継続的に職員派遣を行いました。私は京都市自主防災会連絡会並びに京都市災害ボランティアセンターの代表として、この間、各種の訓練や研修に参加してまいりましたが、そこで役員やボランティアの皆様が熱心に取り組んでおられる姿を拝見し、日頃からの地域の支え合いの大切さとともに、災害の備えを強めていくことが一層重要であると確信しました。

本年は、西京区樫原に小規模多機能施設とグループホームからなる施設を新たに開設します。多様な地域ニーズに応え、地域住民とともに活動を広げる拠点として、その役割が果たせるよう社協の総力を発揮してモデル的な取組を展開してまいりたいと考えております。

本会では、今後とも、市民の皆様からの信頼に応えるため、京都市とのパートナーシップと、地域福祉の車の両輪である京都市民生児童委員連盟との連携のもと、本年が飛躍の年となりますよう引き続き役職員が一体となって、「人に優しく、災害に強い、社協の総合力とネットワークを活かした福祉のコミュニティづくり」を進めてまいりますので、御支援並びに御協力をお願い申し上げます。

平成31年元旦

輝かしい時代のスタートを京都から

京都市長　門川（かどかわ）大作（だいさく）

あけましておめでとうございます。

社会福祉法人京都市社会福祉協議会におかれましては、「人にやさしく、災害に強い、社協の総合力とネットワークを活かした福祉のコミュニティづくり」を基本目標に、地域福祉の推進に日々取り組んでいただいております。村井信夫会長をはじめとされる役員並びに会員の皆様の福祉に対する御熱意と多大な御尽力に、心から敬意を表します。

昨年は、地震や豪雨、度重なる台風等に見舞われ、自然の脅威を思い知らされる一年でした。京都市でも、長期の停電、家屋や文化財・公共施設、農林、道路などに大きな被害が発生。しかし、尊い命は守られました。これは、消防団や水防団、自主防災会等の皆様、そして、日ごろの見守り活動を通じて安否確認などに取り組まれた、社会福祉協議会や民生児童委員などの皆様の御尽力があればこそ。御尽力いただいた全ての皆様に心から感謝申し上げます。これらの災害をしっかりと総括し、今後の安心安全のまちづくりへ教訓としてまいりますが、改めて京都の「地域力」「人間力」を目の当たりにし、困難を乗り越えて更なる発展を遂げる「レジリエント」なまちの真髄を見出した思いです。これらの「京都力」を地域における子どもたちの学び、育ち、高齢者や障害のある方が生き生きと命を輝かせるまちづくりへ、共々に生かしてまいります。

そして本年。京都のまちを更にパワーアップさせる機会が目白押しです。京都経済百年の計「京都経済センター」の開設で、中小企業・地域企業を元気に！ＪＲ「梅小路京都西駅」の開業、日本初開催となる「国際博物館会議（ＩＣＯＭ）京都大会」、市美術館のリニューアルオープンも来年度中に。５年連続で保育所等待機児童ゼロを達成した子育て支援、指定都市トップとなった市立小学生の学力など成果を確認し、更なる充実へ。福祉、環境、景観、安心安全、伝統産業等の振興につながる観光、町家の保全、持続可能なまちづくりなど、引き続き市民の皆さんと共に汗する「共汗」で、全力投球してまいります。

ラグビーワールドカップ、東京オリ・パラ、そして２０２１年には世界最大の生涯スポーツの祭典「ワールドマスターズゲームズ関西」、さらに機能強化した新・文化庁の京都への全面的移転が控えています。２０２５日本万国博覧会（大阪・関西）の開催も決定！これらを機に、文化の力を市民の皆さんの豊かさにつなげ、持続可能な社会を目指すＳＤＧｓ（「誰一人取り残さない」を理念に国連が掲げる17の取組目標）の達成にも貢献していく決意です。平成に続く新たな時代が幕を開ける本年。京都が世界の人々の幸せと平和に貢献すべく、共々に。

皆様のこの一年の御多幸をお祈りします。

特集 3回シリーズ

学区社協の今①

～学区社協実態調査（速報値）より～

本会では、今年度「京都市の社協あり方構想検討委員会」を設置して、住民主体に根ざした、これからの社協活動の方向性を検討しています。京都市の社会福祉協議会の特徴は市・区・学区の3層構造にあり、とくに日頃より地域で活動を展開している219の「学区社協」は京都市内の豊かな社協活動の根幹となっています。

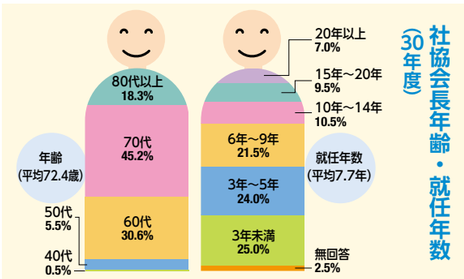
この度、時代に即した市区社協の地域支援のあり方を考える基礎資料として、前回調査（平成17年度）から13年ぶりに、全市で学区社協の活動状況や組織、地域の福祉課題や強化が必要と考えること等を聞き取る「学区社協実態調査」を10月に実施しました。9割以上の学区社協からの「声」が寄せられており、「学区社協の今」をダイジェストでお届けします。

◀上京区で行われた地域懇談会の場面。近年の地域の変化について、思いを共有しました

学区社協 会長の今

会長の平均年齢は72・4歳、平均就任年数が7・7年となっています。就任年数は全体の4分の1が就任から3年未満である一方、3割が10年を越えています。男性が8割、女性が2割を占めます。

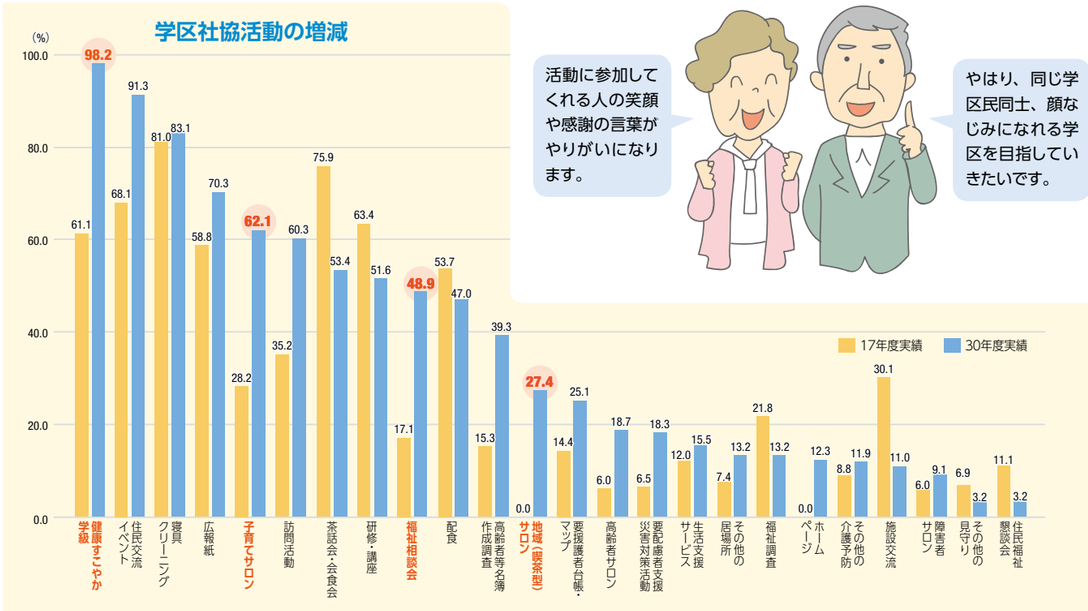
仕事を続けながら、学区社協会長として活躍される方が3割を超える一方、一線を退かれ、活動に従事される方も4割を超えています。

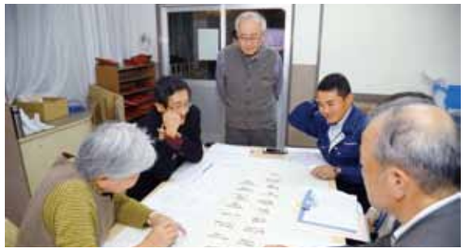


学区社協 活動の今

17年度と比較すると、「健康すこやか学級」をはじめ「住民交流イベント」「子育てサロン」などが大きく増加、学区社協の活動がしっかり根を張り、大きく広がっていることがわかります。

「見守り活動」「地域サロン」「相談会」など新たな絆づくりの取組の積極的な展開も見られます。





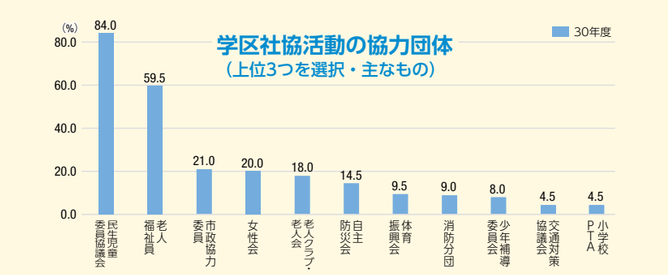
▶地域活動の担い手や高齢者の介護など、最近耳にする課題について話し合いました

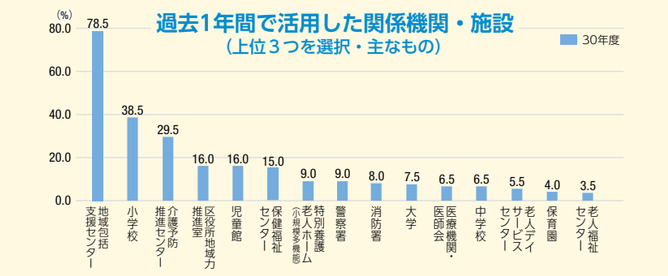
学区社協 連携の今

学区の各種団体と連携しながら活動を進めている学区社協は9割を超え、連携は活動に不可欠なものとなっています。

協力団体の上位3つに、民生児童委員協議会をあげる学区社協が8割を超えています。社協と民協が車輪の両輪として連携しつつ活動していることがうかがえます。

関係機関では、上位3つのうちに地域包括支援センターをあげる学区が8割近くあり、健康すこやか学級等活動の広がりとともに関係機関との連携も強まっていることがわかります。

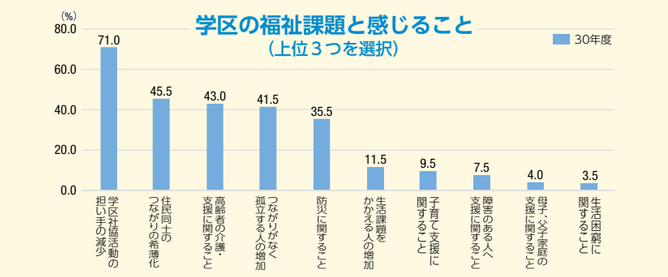


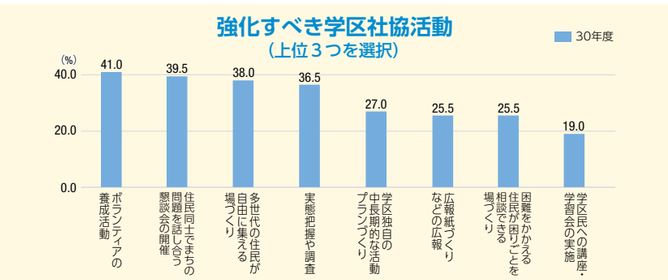


学区社協 「思い」の今

地域の福祉課題として7割以上の会長が「担い手」の課題を上げています。「つながりの希薄化や孤立」への高い問題意識も見られます。

そのため、今後強化すべきこととして、「ボランティアの育成」が4割を超え、また、つながりが希薄となり課題が表出しにくい現在、地域の課題を共有できる「地域懇談会」や多世代で交流できる「集いの場」づくりがあげられています。





福祉ボランティアセンター

第９回

福祉ボランティア 社協フェスタを開催

共につくろう きょうの絆

爽やかな秋晴れに恵まれた10月14日(日)、第9回「福祉ボランティア・社協フェスタ」が、「ひと・まち交流館 京都」で開催されました。当日は、約1800人の市民の皆さんが来場。各福祉団体・施設の企画や展示を楽しみながら、福祉や災害時に備えることの大切さとともに、災害時に役立つ知恵と知識を学びました。

地域の社会福祉推進を目指して企業との連携協定を締結

大会議室では、午後から式典を開催。村井信夫・市社協会長は、「西日本初の株式会社セブン・イレブン・ジャパンと『商品寄贈による社会福祉貢献活動連携協定』を締結したことで、福祉施設や関係機関、団体との連携を強化し、生活に困難を抱えた方々の支援を進め、地域福祉の向上に取り組みたい」と抱負を述べました。門川大作京都市長は、「日本の年間食品ロスは640万t以上。今回の取組は、食品ロスをなくすとともに、暮らしやすい地域づくりに大きな役割を果たす」と期待を込めて挨拶されました。寺田一博京都市会議長は手話で自己紹介をされた後、「今回の締結は、市民の皆さんが福祉に関心を持つきっかけになると期待している」と語られました。

▲高齢者疑似体験
特殊メガネをかけることで色覚変化を体験

▲左から 村井会長、門川市長、岡本マネージャー（SEJ）

福祉の絆づくり事業贈呈式の後は、丹波史紀立命館大学産業社会学部准教授が「どの子も成長する地域を――地域で支える子どもの貧困――」をテーマに講演。「子どもの貧困対策に地域で取り組むには、子どもが安心できる場をつくり、子どもが発信するSOSを大人がキャッチすることが大切」と語りました。

▲丹波史紀氏
立命館大学 産業社会学部 准教授

介護から防災まで楽しみながら福祉を学ぶ

会場には、市社協と市内で福祉ボランティアに関わる団体が出展しました。楽しみながら防災知識が身につく「イザ！カエルキャラバン！」は、親子連れで大盛況。「高齢者疑似体験」では、3歳の子どもが体験する姿が見られました。「わくわく☆らくらく☆てづくりひろば」に参加した女性は「ボランティア活動で役立てたい」と、タオルを使った作品づくりにチャレンジしていました。

グラウンドの飲食・喫茶コーナー「ふれあい市場」では、福祉施設等11団体が販売するたこ飯やからあげなどに舌鼓を打つ来場者の姿が見られました。今回、リユース食器等の使用にも取り組みました。

▲誰でもできるかんたんタオル作品づくり

◀絵本の読み聞かせ

▶スタンプラリーゴールの缶バッジ製作

生活支援部

チャレンジ就労体験事業
――地域の社会福祉施設とともに生活困窮者等の自立を支える生活支援――

「チャレンジ就労体験事業」では、すぐに就労することが困難な生活保護を受給している方・生活に困窮する方に対して、有期の就労体験の機会を提供することで自立を支援しています。

今年6年目を迎える本事業ですが、京都市内計152箇所（福祉施設133、一般企業10、その他9）の体験先にご協力いただき、これまで307名が体験を修了。多くの方がそれぞれの自立に向かってステップアップしておられます。

就労体験の事例

◆自分らしい働き方をめざすＡさん

体験先：就労継続支援Ｂ型事業所／製菓補助　等

高校卒業後すぐに就職したＡさん。同僚とうまくコミュニケーションがとれないことや、作業のスピードが周りから大きく遅れることが続き、上司に「もう来なくていい」と言われ退職。自信を無くし、ひきこもりがちになっていたＡさんですが、ケースワーカーの勧めもあり、自分の適性を知るためにと体験をスタートします。

初めは頑張りすぎて体調を崩してしまうこともあったＡさんですが、職員の「焦らなくていいですよ」という声かけのもと、少しずつ自分のペースで仕事ができるように変化。

就労体験が自分の得意・不得意に向き合うきっかけとなって、Ａさんは体験終了後、療育手帳を取得して慣れ親しんだ体験先の利用者となり、就労に向けての訓練を続けていくことを決めました。

◆就労体験先の声

体験の中でＡさんの変化を感じることができました。また、施設としてひきこもり・困窮者支援を通じて地域の福祉に貢献することができ、嬉しく思います。

（事例は個人が特定できないよう改変しています）

福祉事業を始めるなら
賠償責任保険は必須です！
福祉事業者総合補償制度
「まごころワイド」をおすすめします。
充実の賠償責任補償制度、
安価な傷害見舞金補償制度など
必要なプランを組み合わせてご加入いただけます。
福祉専門チームによる安心の事故対応、京都市社会福祉協議会、
京都府社会福祉協議会が提供する福祉の現場に合った内容です。
詳しい補償内容はこちらまで
福祉の保険「まごころワイド」取扱代理店
京都の総合保険代理店 SRM 株式会社エスアールエム
専用TEL 075-255-0883
福祉の保険ホームページ www.srm-net.co.jp/
引受保険会社：三井住友海上火災保険株式会社
この広告は保険の特徴を説明したものです。
詳しくは商品パンフレットをご覧ください。
ボランティア活動には「ボランティア保険」
イベントを開催されるときには「福祉行事保険」も併せてご利用ください。

地域支援部

平成30年度地域福祉推進セミナー
地域共生社会の実現に向けた連携による地域福祉の実践

7月12日（木）、ロームシアター京都において、京都市民生児童委員連盟と合同で地域福祉推進セミナーを開催。来賓として門川市長、しまもと京司教育福祉委員会委員長をはじめ、髙城順一保健福祉局長、別府正広健康長寿のまち・京都推進担当局長、久保敦子ども若者はぐくみ局長、各区長等をお迎えし、社協関係者や民生児童委員、関係行政職員等約500名の皆様に参加いただき、山科区の安祥寺中学校区・緊急時安否確認かぎ預かり事業の取組を学びました。

基調報告

地域共生社会の実現に向けた地域福祉の課題とは

コーディネーター
志藤 修史 氏
大谷大学　社会学部長
京都市社会福祉審議会
地域福祉専門分科会長

地域の生活課題の解決に当たっては、住民を中心として、社会福祉法人、事業所、行政等が各々の活動における課題を持ち寄ることで、具体的な目的を共有し、顔の見える関係を築くことが大切です。そうした関係が、地域の新たな財産となります。

実践報告

地域ならではのかぎ預かり事業を目指して

森下 睦美 氏
高齢サポート・山階センター長

地域包括支援センター（高齢サポート）には、高齢者と家族から、「万一に備え、かぎを預かってほしい」という声が多く寄せられていました。高齢サポート・山階の圏域（安祥寺中学校区）である、山階学区・安朱学区・西野学区の3学区合同地域ケア会議で、「この地域ならではの、かぎ預かり事業に取り組もう」と意見が一致。9ヵ月の準備を経て、平成28年、かぎ預かりを開始。今年6月時点で申込者数は56名、利用者は48名、4回出動しました。

役割を分担して効率的な活動を展開

地野 隆 氏
山科区・西野学区民生児童委員協議会　会長

西野学区では高齢化が進み、民生委員が十数本のかぎを預かるなど負担が増大し、3学区合同地域ケア会議で問題を提起しました。解決策として提案されたかぎ預かり事業は、役割分担が明確。一学区民協では解決しないことも、当事業ならそれぞれの強みを生かして少ない負担で効率的に活動できると思い、参画しました。

施設の特徴を生かして地域に貢献

児玉 直久 氏
社会福祉法人香東園
香東園やましな　施設長

24時間年中無休の当施設なら、かぎを受け渡しが可能と考えました。かぎを預かるリスクの懸念もありましたが、施設内研修で地域貢献の大切さを浸透させ、マニュアル作成や実地訓練を行い、管理職間の連携体制とトラブル発生時のオンコール体制を確立しました。当施設は安祥寺中学校区の西端に位置していますが、この事業を通じて地域の方々との心の距離は近くなりました。

学区を超えたつながりで情報を共有

住友 正歳 氏
山科区・山階学区社会福祉協議会　会長
かぎ預かり事業実行委員会　委員長

福祉委員の毎年の交代、自治会加入者の減少は3学区共通の問題であり、協働で取り組むことで自治会未加入者にもアプローチできると感じました。実際、学区を超えたつながりができ、災害等についても情報共有できる関係になりました。実行委員会活動を通じ、関係機関の強みを知り、地域の見守り活動のノウハウを得られたのも大きな成果です。

まとめ

最後に志藤氏は、「困り事を話しあうことで糸口が見え、安心して活動できる〝いい連携〟を築けた事例。地域の実情や、やるべきことを関係機関に伝えることが各機関の専門性を高め、安心安全な地域づくりにつながる。今回の事例を参考に、どう連携するかを考えてほしい」と述べられました。

介護保険事業部

8ヵ所のデイサービスセンターで公益社団法人京都府柔道整復師会との協働による機能訓練を実施

本会が運営しているデイサービスセンターでは公益社団法人 京都府柔道整復師会（会長 長尾淳彦）との協働による機能訓練を実施しています。柔道整復師と看護師、生活相談員、ケアワーカーが連携し、ご利用者一人ひとりの状態に沿った機能訓練の実施に努めています。ご利用者からは、「柔道整復師さんの専門的な指導で、以前より家の中での動きがしやすくなった」、「家でも教えてもらった運動を続けている」との声が挙がっています。また、太秦デイの中村柔道整復師からも、「平成11年から太秦デイで機能訓練に携わっているが、現在は廃用性予防と現状維持、また具体的目標を持たれるご利用者が増え、訓練メニューも増えている。『この動作がやりやすくなった』との声を聞くと、効果ややりがいを感じる。ご利用者と気持ちの距離を縮め、個々の身体に寄り添いながら、個別機能訓練に取り組んでいる」とのご意見をいただいております。

柔道整復師による機能訓練は、現在8施設（東山、山科、陶化、久世西、太秦、御室、伏見、醍醐）で実施しています。今後もご利用者が元気になれるよう、よりよいサービスの提供を目指します。

子育てサロンの様子

職員も大型絵本の読み聞かせを担当しています

児童館を会場として提供しています

児童館事業部

児童館の地域子育て支援活動

京都市では、子育てサロン・子育てサークル等、地域の住民主体の子育て支援活動の活性化を図り、「子育てを支え合える地域社会づくり」を推進しています。

本会の児童館でも、従来より地域の子育て支援の拠点として、地域の子育てサロン・サークル等への会場貸出やプログラムの提供、職員派遣等を積極的に行い、地域の子育て支援活動の活性化を積極的に支援しています。子育てサロン・サークルは、乳幼児親子が地域の人々に温かく見守られる中で、安心して過ごせる居場所となっています。

また、本会では、NPO法人京都子育てネットワークに委託し、アドバイザー派遣により、子育てサロン・サークルの運営に関する助言及び情報提供を行う「子育てサロン等アドバイザー派遣事業」を実施しています。さらに、『親子の居場所づくり相談室』を開設し、居場所を求める親子への情報提供や、子育てサロン・サークルの立ち上げの相談も行っています。

遺言書作成や相続でお困りの方へ
遺言・相続センター
無料で手軽な電話法律相談
まずはお電話を！！
☎075-255-4990
相談料　無料（1回20分）
受　付　平日（月～金）午後1時～3時30分
申込受付後、折り返し弁護士が申込者へお電話します。
京都弁護士会
KYOTO BAR ASSOCIATION

社会福祉研修・介護実習普及センター

社会福祉研修の学びを活かした職場実践

～プレゼンテーションはプレゼント!? ～

社会福祉研修・介護実習普及センターでは、様々な研修を実施しており、研修内容を職場での実践に役立ててもらうことで、福祉サービスの質の向上に努めています。今回、プレゼンテーション研修受講者に、受講後、職場でどのように学びを活かされたかインタビューをしてきました。

「障害者支援施設 輝」で働く高阪篤史さんは、職場の仲間と上手に連携するためには、伝える側の能力の向上が必要だと思い受講されました。研修後、実践内容についてお聞きしたところ、「相手のことを考え、分かりやすさを意識して伝達研修を行った結果、他の職員も図や表を活用し、分かりやすく伝える工夫をするようになりました。今では連携しやすい雰囲気づくりができています。まさに相手の喜ぶものを考えて渡すプレゼントと一緒ですね!」と笑顔で話されました。

プレゼンテーションは、企画の提案だけでなく、報告・連絡・相談など、相手に分かりやすく伝え、受け入れてもらうためのものであり、普段のコミュニケーションにも役立つスキルです。また、研修で学んだことを伝達研修や、できることから実践することで、他の職員や職場全体にも相乗効果が生まれます。

社会福祉研修・介護実習普及センターでは、職場の人材育成にご活用いただけるように、援助技術系の研修とともに、組織運営系の研修も実施しています。やりがいを持って働き続けられる職場づくり等、より良い組織運営を行うことで、ご利用者へのサービス向上や高い満足度につなげることができます。ぜひ当センターの研修をご活用ください。

職場で実践中!!

施設紹介

社会福祉法人 南山城学園
障害者支援施設　輝

対象者　高齢の方・準高齢の方など、介護が必要な方
定　員　生活介護58名 / 施設入所58名 / ショートステイ7床

研修情報はこちら⬇
みやこけんしゅう　検索

ひと・まち交流館 京都における環境への取組

ひと・まち交流館 京都

ひと・まち交流館 京都では、環境負荷低減のため、平成19年度より、電力使用量・事務用紙使用量の削減、交流館周辺の清掃活動の3つをテーマに取り組み、平成24年度からは、さらに廃棄物の削減とエコマーク等のついたグリーン製品の積極的購入の2つのテーマを加え、5つのテーマで取組を推進、強化してきました。その結果、電力使用量については、平成26年度と29年度の比較では約5％の削減、また一般ごみの削減においては同年度比較で約8％削減、その他の取組についても目標を大きく上回ることができました。これらの取組により、職員の環境保全に対する意識は向上し、定着しつつあります。本年度からは、地域での健康すこやか学級や児童館での子育て支援事業といった社協事業に参加いただくことで家庭の節電につなげるなど、持続可能な社協らしい事業展開を推進しています。

ひと・まち交流館入り口の太陽光発電量の表示板

長寿すこやかセンター

元気な今だからこそ『終い』を考える

人それぞれに「生き方」があるように、それぞれの人生の「終い方」があります。あなたの人生を最期まであなたらしく生きるために、今、元気なうちから、「もしものとき」のことについて考えてみませんか。

人生の最期はいつ訪れるか分かりません。「どんな最期を迎えたいか」を考えることは「これからをどう生きるか」を考えることでもあり、「今をよりよく生きること」に繋がっていきます。

京都市長寿すこやかセンターでは、市民の皆さまに、人生の終い支度の意義についてご理解いただき、ご自分のこととして考え、ご家族や親しい人と話し合うきっかけとしていただくため、連続講座「人生の終い支度」の開催や、リーフレット「シリーズ　あなたらしく生きていくための備え」の発行に取り組んでいます。また、センター開所時間は、職員が、いつでも電話・来所・メール等による相談に応じていますので、お気軽にご利用ください。

自分のエンディングを考える
- 医療の希望を残す
- 葬儀について考える
- お墓の形態を考える

想いを引き継ぐ
- 自分の想いを整理する
- 大切な人に想いを伝える

ものを引き継ぐ
- 持ち物を整理する
- 形見を渡す
- 財産を引き継ぐ

これまでを振り返ることで今をよりよく生きる

開所日・時間
月曜日～土曜日（午前９時～午後９時30分）
日曜日・祝日（午前９時～午後５時）

休所日
毎月第３火曜日（祝日の場合はその翌日）
年末年始（12月29日～１月４日）

電話番号　(075) 354-8741

※「あなたらしく生きていくための備え」は、総論編と順次発行する各論編（住まい、権利擁護、遺言・相続、葬儀・お墓、介護、ひとりでも生きがいをもって暮らすために、医療）で構成されています。

ご寄付のお礼

貴重なご厚志ありがとうございました。（敬称略）

平成29年
12月　三菱電機ビルテクノサービス株式会社　関西支社
　　木村　勤
　　京セラ㈱従業員一同　京セラ株式会社 本社
　　京セラ株式会社 大阪営業所 京セラ株式会社 岡山営業所
　　京セラ労働組合 大阪分会　京セラ労働組合 京都支部
　　迫屋　ユキエ
　　株式会社　京セラソーラーコーポレーション
　　株式会社　ホテルプリンセス京都
平成30年
１月　簡　照子
２月　山口　千鶴子
　　NPO法人　夢・同人
３月　イビススタイルズ　京都ステーション
　　オニム倶楽部
５月　フジモトHD株式会社
７月　大同生命保険株式会社
　　株式会社　阪急オアシス
８月　安藤　公雄
　　村井　文子
10月　野田　敏子
11月　公益財団法人　京遊連社会福祉基金
　　関西遊技機商業協同組合
12月　在日大韓基督教会　京都東山協会

※その他複数の匿名の方からもいただいています。

長寿すこやかセンターでは、高齢者の生きがいづくり、認知症に関すること、成年後見制度、高齢者の生活や介護について、様々な相談に応じています。また必要に応じて、専門家による専門相談（事前予約制）におつなぎします。

相談方法
電話・来所・メールで受付
- 月曜日～土曜日　午前９時～午後９時
- 日曜日・祝日　午前９時～午後４時30分

休所日
- 毎月第３火曜日（祝日の場合はその翌日）
- 年末年始（12月29日～１月４日）

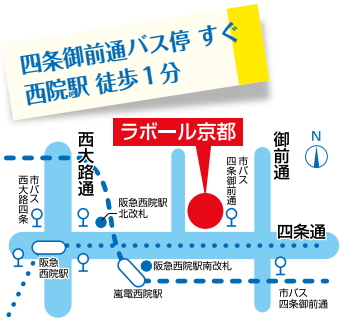
問合せ先
- 京都市長寿すこやかセンター　075-354-8741
- 成年後見に関するご相談は、
  京都市成年後見支援センター　075-354-8815
- 高齢者虐待や権利擁護に関するご相談は、
  高齢者110番　075-354-8110

貸会議室　ホール　等のご利用に!

ラボール京都

多様なニーズに対応できる大ホールと中小会議室全15室（14名～342名）を2,376円～（２時間利用）とリーズナブルな価格で!
趣味の会や会議・研修などお気軽にご利用ください。

四条御前通バス停 すぐ
西院駅 徒歩１分



TEL075-801-5311
ラボール京都
京都市中京区壬生仙念町30-2（四条御前西入）
ラボール京都（公益財団法人 京都労働者総合会館）

URテナントは「子育て支援事業」を応援しています!
♥保育園・幼稚園・小規模保育 ♥学童保育・放課後デイサービス
♥ファミリーケアステーション・親子カフェ・コミュニティスペース
♥児童発達支援　など

子育て支援事業者への賃貸料優遇制度
賃貸料最大50%OFF
※申込後の審査により、賃貸料が50%になる事業かどうか判断させていただいております。

他にもメリットいっぱい
- merit-2 権利金・礼金・手数料不要 初期費用が安い!
- merit-3 開店までの準備期間も安心 工事前の賃貸料無料
- merit-4 面倒な手続きいらず 保証人不要!
- merit-5 大型団地内だから 潜在顧客が豊富

詳しい内容や資料請求はこちらから▶ URテナント 関西 検索

街に、ルネッサンス
UR都市機構
独立行政法人 都市再生機構 西日本支社 住宅経営部 経営課
〒536-8550 大阪市城東区森之宮1-6-85 TEL.06-6969-9044

福祉のまちづくり

180号 2019年１月７日発行
●発行／社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
TEL.(075)354-8731 FAX.(075)354-8736
〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
（河原町五条下る東側）「ひと・まち交流館 京都」
●発行人／村井信夫 ●編集人／芳賀正昭 ●編集協力／株式会社きかんしコム

京都市社協　ホームページで京都市社協の活動を映像でご覧いただけます。携帯電話でもバーコードリーダーで右のQRコードを読んで簡単アクセス!

京都市社会福祉協議会では、京都市における環境負荷の管理・低減の規格であるKESステップ２を認証取得し、環境負荷軽減に努めています。

この広報誌は一部共同募金の配分金で発行しています。

PRINTED WITH SOYINK